

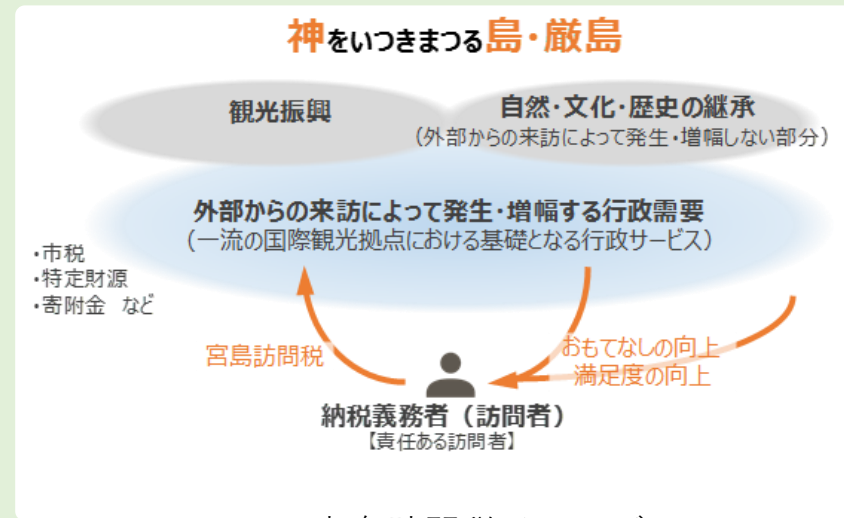
1. 宮島と瀬戸内海国立公園

- 宮島は、推古元年(593年) から1500年近い歴史を誇る。
- 「厳島神社」を中心とする歴史・文化、背後の弥山原始林を中心とする自然が調和した島
- 1950年に島全体が瀬戸内海国立公園の一部として指定、1996年には「厳島神社」と背後の「弥山原始林」を含む全島の約14パーセントが世界遺産に登録
- 令和4年6月ゼロカーボンシティを宣言
- 令和5年4月に中国四国地方ではじめてのゼロカーボンパークに登録

2. ゼロカーボンに向けた廿日市市の宮島での取組

① 持続可能な観光の推進

- 宮島訪問税（令和5年10月から）による、持続可能な観光に向けた取組（自然・文化・歴史の保全継承、受け入れ環境の向上等）の推進
- 温室効果ガス排出量の削減に向けた、市民・事業者への再エネ・省エネ設備の導入・更新およびEV車両等購入費補助の実施



宮島訪問税イメージ

② 脱プラスチックの推進

- ・ 公共施設へウォーターサーバー設置し、マイボトルの利用の促進をはかることによる脱プラの推進
- ・ 民間事業者（旅館・ホテル・表参道商店街など）に対する、脱プラを促進するための補助制度の検討



島内に設置した
ウォーターサーバー&
マイボトルイメージ

③ 小型モビリティ等の活用

- ・ CO₂排出量の低減に寄与するグリーンスローモビリティの実証実験（令和5年度）を行い、観光客の移動手段として導入の可能性を検討

④ 普及啓発

- ・ 利用拠点（宮島栈橋旅客ターミナル）のほか、市HP、SNS、イベントの実施等より、各種取組について普及啓発

3. 環境省における対応

- ・ ゼロカーボンシティ支援に活用しているエネルギー対策特別会計予算等の既存予算をパッケージとして支援する他、中国四国地方環境事務所が廿日市市と連携をとりながら伴走支援